School Shuttle for Microsoft 365
Ver3.0 リリースノート

リリース日: 2026 年 6 月 17 日　**対象バージョン:** Ver3.0.0.0（前バージョン: Ver2.1.0.1）

バージョン	リリース日	変更内容
Ver3.0	2026 年 6 月 17 日	Azure Functions 分離ワーカーモデル対応、.NET 10 移行、グループ列名称変更・取得条件明確化、不具合修正

1. School Shuttle for Microsoft 365 Ver3.0 リリース概要

Ver3.0 では、Microsoft Azure Functions の動作基盤変更への対応を主軸に.NET フレームワークの更新、グループ取り扱いの改善、および不具合修正を行いました。

1.1 Azure Functions の一部 EOL に伴う、School Shuttle クラウド側動作基盤の変更

Microsoft が提供する Azure Functions の動作モデルのうち、インプロセスモデルが 2026 年 11 月 10 日をもって廃止されます。これに伴い、School Shuttle のクラウド側処理基盤を分離ワーカープロセスモデル（Isolated Worker Model）へ移行しました。

参考：インプロセスと分離ワーカープロセスの .NET の Azure Functions の違い

1.2 .NET フレームワークの最新版への適用

上記の動作基盤変更に合わせ、実行環境を .NET 6（サポート終了済）から .NET 10（長期サポート版）へ更新しました。

1.3 グループ取り扱いの変更

Excel の表示項目およびマッピング設定で使用するグループ列の名称と、取得対象となるグループの条件を見

直しました。

1.4 バグフィックス：MFA 項目利用時の修正

多要素認証（MFA）項目が未入力の場合にエラーになる問題を修正しました。

1.5 Excel 入力書式の変更

Excel の入力書式を「標準」に変更しました。

2. 今回のバージョンアップによる影響

2.1 分離ワーカーモデル採用の影響

本変更は School Shuttle のクラウド側内部基盤の刷新であり、Excel 上での操作手順に変更はありません。これまで通りの操作でご利用いただけます。

2.2 .NET フレームワーク更新の影響

実行環境の更新は内部処理にとどまるため、Excel 上での操作手順に変更はありません。これまで通りの操作でご利用いただけます。

2.3 グループ取り扱いの変更

セキュリティグループ・Microsoft 365 グループをご利用でないお客様には影響はありません。これまで通りの操作でご利用いただけます。

ご利用中のお客様においては、名称と取り扱い範囲が以下のように変わります。

変更前	変更後	取得対象となるグループの条件
ライセンスグループ	セキュリティグループ	Entra ID 上でセキュリティが有効（securityEnabled）なグループ
チーム	Microsoft 365 グループ	Entra ID 上で Microsoft 365 グループとして作成されたグループ（Teams チームを含む）

2.4 不具合修正：MFA 項目未入力時のエラー修正

多要素認証（MFA）の設定を空欄のままユーザー登録・更新依頼を行うとエラーが発生する問題を修正しました。

Ver3.0 以降、多要素認証（MFA）項目を入力必須にしました。
ユーザー登録・更新依頼時は、「TRUE（MFA 有効）」または「FALSE（MFA 無効）」のいずれかを入力してください。
※本項目はインストーラー作成時に入力必須として設定されるため、通常の運用では空欄になりません。

2.5 Excel 入力書式の変更

Excel シートの入力書式を「標準」に変更しました。これにより、Excel 関数が利用可能になります。

書式	Excel 関数の使用	先頭が 0 から始まる値の管理
標準（Ver3.0 より）	可能	不可（0 が省略される）
文字列（Ver2.0～Ver2.1）	不可	可能

※先頭が 0 から始まる値（学校コードなど）を扱う場合は、担当者にご相談ください。